

平成31年3月22日

東伊豆町議会議長 飯田 桂司 様

議会改革調査特別委員会
委員長 山田 直志

議会改革調査特別委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

別紙

1. 調査事件

地方分権時代に即した議会運営についての調査・研究.

2. 会議の開催、出席者及び視察等

参考資料1のとおり

3. 活動経費

議員費用弁償（自宅～役場）	45,320円
議員費用弁償（町外視察）	66,710円
職員旅費（町外視察）	16,440円
合計	128,470円

4. 委員会の調査方針

- (1) 委員からの意見を集約し、重点を定め調査を行った。
- (2) 試行を行い町民の声も聞きながら検証した。
- (3) 全国町村議長会の調査や既に改革を実施している市町を参考とした。

5. 議会改革の目標

町民に開かれた議会に

6. 当町の現状

「情報共有」、「住民参加」、「機能強化」を中心に評価する早稲田大学マニフェスト研究所議会改革調査部の調べでは、当町の議会改革度は、1318議会中1215位（回答率73.7%）という状況にある。

7. 重点課題の取り組みについて

委員会では、委員（議員）一人ひとりから当面取り組みたい議会改革について意見聴取し、議会改革意向一覧にまとめた。その中から重点項目を抽出し、委員会で協議を重ねた結果、以下のとおりとなった。

(1) 会議の在り方の見直しについて

「議会が分かりにくい」、「何をしているのか分からない」などの町民の声があることから、議会の会議の在り方について以下の検討を行った。

ア. 一般質問・答弁のあり方（回数）の見直しについて

議員より一問一答の要望が多く、伊豆市の一般質問を見学し検討を行った。その後、町長に申し入れを行い、協議を重ね以下の4項目の確認を行い実施することで合意した。

- ①一般質問の通告書の改善
- ②答弁検討時間の確保
- ③町長の反問権行使を認める
- ④反問権行使の際、質問時間の延長を一定認める

3月の第1回定例会において試行的に行われた。今後は町民の方々の声を聞きながら、継続的に行われるよう当局に申し入れを行う。

イ. 通年会期制について

通年会期制については、常任委員会の活動が活発になることが期待される。事務的な対応を含め今後も引き続き調査する。

ウ. 自由討議の実施

自由討議は議員同士が課題に沿っていろいろな角度から議論する取り組みである。実施の方向で検討してきたが、自由討議の議題を提出するためのルール作りまでの協議しかできず、テーマを設定して実施することはできなかった。

オ. 夜間休日議会開催

この地域での産業構造を考えると、開催しても町民の議会傍聴や有線放送での視聴が増えることは考えにくい。また、職員への負担や掛かる経費も大きいので開催はしない。

(2) 開かれた議会へ議会の取り組みについて

議会の状況を分かりやすく知ってもらう努力と、直接町民の方々から意見・要望を聞く機会を設けるなど、新たな議会活動への取り組みが必要である。そのための具体的な活動内容について以下のとおり検討を行った。

ア. 議会だよりの充実

広報編集委員会において、「読みやすい紙面」の充実に向けての写真の活用や、議会に於ける討論の内容、及び採決の賛否の結果などの掲載、一般質問に係る文章の簡潔化による紙面のレイアウト向上などに取り組んだ。

イ. 住民の意見を取り入れた議会

平成30年12月3日に区長会と、平成31年2月1日には農業者と意見交換会を行った。町民生活の現場の声を聴くことは、非常に有意義であり、議会では意見交換会で出され意見や要望について、それぞれの担当常任委員会にて協議し、町当局に意見又は協議していく方向で進められている。また、議会への質問や批判も多く頂いたが、今後の議会に活かせる意見もあるので、引き続き地域住民や各種団体等と意見交換会を行っていく。

なお、今回の意見交換会は議会として要請したものと、町民からの要望で開催されたものがあり、継続的に開催するには一定の時間と準備が必要であるので計画的に行うことが重要である。

ウ. 議会情報配信の検討

(ア) 稲取地区、城東地区の情報格差の解消

議会定例会の配信に関する情報格差の解消という視点から考えるとインターネット中継が考えられるが、議場機材の設備更新費用などの点ですぐに対応することは困難である。

(イ) インターネットの活用

東伊豆有線テレビの一般質問の映像データを、YouTubeを活用して、町のホームページから視聴できるよう東伊豆有線テレビと交渉した。その結果12月定例会、3月定例会分の映像データを無償で提供されることになり、議会として配信準備を進めている。今後は東伊豆有線テレビより継続的に映像データの提供が受けられるよう引き続き交渉する。

(ウ) 高校生議会及び親子議場見学会等の開催

今年度中での開催は準備期間が短く、スケジュール面で厳しいことから実施は見送った。今後については年間を通した学校行事・計画を検討される時期に校長会に要請を行い、次年度以降の開催を引き続き検討していく。

8. 議員定数、議員報酬について

先進地視察や全国議長会の状況、意見交換会でも出された意見を基に検討した。

(1) 議員定数について

議員定数を削減すべきという意見には「人口が減少しているので、議員定数も削減していくべきでは」、「区長会や農業者との意見交換会

でもそのような意見がでた」というものでした。一方、定数を現状のままという意見には、「議員の活動が知られていない」、「議会には大事な役割があり軽々に決めるべきではない」、「郡下の状況を見ても議会運営を考えると今のものが適正ではないか」というもので、結果、議員定数については削減すべき意見は少数であった。当面は、議会の活動内容や役割を町民に知らせること、議会改革を継続して取り組むことなどで適正な議員数を、町民の意見を聞きながら、絶えず検証していくことが重要であり、人口減少など町を取り巻く環境の変化に合わせて柔軟に対応していくことも必要である。

(2) 議員報酬について

「若い人が出やすくするために」、「賀茂郡でも最下位ではなり手がなくなる」、「合併問題の時に報酬の2割削減をしてきたので、もとにもどすというかんがえでよいのではないか」など報酬の値上げが必要ではとの意見があった。一方で「改選前でなく、議会改革で結果を出してからお願いすべきでは」、「少しぐらい上がっても若い人が出られる環境は変わらない」と現状のままを主張する意見もあった。今回は現行どおりとする意見が多数であったので、報酬の引き上げについては行わないが、全国の地方議会の中でも大変低い状況であることに変わりない。全国町村議長会からの報告では、国の地方制度調査会等で地方議会議員の待遇についての検討がなされていることから、それらの状況も踏まえ、町民の意見も聞きながら、町議会及び賀茂郡議会議長会で今後協議していく必要がある。

9. その他について

(1) 議場の放送設備の更新について

現在の議場内の放送設備は、役場庁舎を新築した昭和59年当時のままで、持ち時間制やインターネット放送には対応できていない。また、役場庁舎4階の議会関連施設についても、さらに広く活用が図れるよう当局と協議し計画的に改修・更新していくことが必要である。

(2) 議会改革の継続について

議会改革、議員定数、議員報酬は議会の重要な課題であり、東伊豆町議会基本条例の制定も視野に継続的な検討を行っていく。

参考資料 1

会議の開催、出席者及び視察等

No	種別	開催日	場所	出席者（参加者）	人数	備考
1	委員会	H30. 6. 18	4階第一委員会室	笠井政明、稲葉義仁、栗原京子 西塚孝男、内山慎一、飯田桂司 須佐衛、藤井廣明、鈴木勉 定居利子、山田直志 事務局職員（2名）	13名	・正副委員長選出 ・委員会の進め方
2	委員会	H30. 7. 5	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・議会改革調査内容について
3	委員会	H30. 7. 23	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・集約結果による取組みの検討と今後の方針
4	視察	H30. 8. 23	松崎町役場	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・議員定数・報酬について ・松崎町議会運営の課題について
5	委員会	H30. 9. 25	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・第3回議会定例会中間報告書の検討
6	視察	H30. 10. 4	茨城県取手市役所	稲葉義仁、栗原京子、飯田桂司 須佐衛、森田禮治、山田直志	6名	・茨城県取手市議会の取組み
7	委員会	H30. 10. 16	長野県箕輪村役場	笠井政明、西塚孝男、内山慎一 藤井廣明、鈴木勉、定居利子	6名	・長野県箕輪村議会の取組み
8	協議	H30. 11. 2	ハイキャット	西塚孝男、山田直志 吉田瑞樹（事務局）	3名	・議会映像の提供依頼
9	協議	H30. 11. 5	4階第一委員会室	飯田桂司 山田義則（事務局）	2名	・区長会へ出席 （区長との懇談会申入れ）
10	委員会	H30. 11. 8	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・常任委員会の視察報告について
11	協議	H30. 11. 9	4階議長室	飯田桂司 山田義則（事務局）	2名	・伊豆市議会正副議長・事務局長と面談 （伊豆市議会傍聴の依頼）
12	意見交換会	H30. 12. 3	4階中会議室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・区長との意見交換会
13	視察	H30. 12. 4	伊豆市役所	西塚孝男、内山慎一、須佐衛 藤井廣明、鈴木勉、山田直志 山田義則（事務局）	7名	・伊豆市議会一般質問傍聴

No	種別	開催日	場所	出席者（参加者）	人数	備考
14	視察	H30. 12. 5	伊豆市役所	笠井政明、稲葉義仁、栗原京子 飯田桂司、定居利子 吉田瑞樹（事務局）	6名	・伊豆市議会一般質問傍聴
15	視察	H30. 12. 14	山梨県昭和町役場	笠井政明、稲葉義仁、栗原京子 西塚孝男、内山慎一、飯田桂司 須佐衛、藤井廣明、鈴木勉 定居利子、山田直志 事務局職員（2名）	13名	・山梨県昭和町議会の取組み
16	委員会	H31. 1. 17	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・視察研修・区長意見交換会 ・中間報告の協議事項について ・区長からの意見の対応について
17	協議	H31. 1. 17	3階応接室	西塚孝男、飯田桂司、鈴木勉 山田直志 事務局職員（2名）	6名	・町長、副町長、総務課長と面談 （一問一答方式導入の試行依頼）
18	委員会	H31. 1. 31	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・一般質問の見直しについて ・議会情報配信について ・議員定数・報酬について ・区長からの意見の対応について
19	意見交歓会	H31. 2. 1	1階大会議室	笠井政明、稲葉義仁、栗原京子 西塚孝男、内山慎一、飯田桂司 須佐衛、森田禮治、鈴木勉 定居利子、山田直志 事務局職員（2名）	13名	・農業者との意見交換会
20	協議	H31. 2. 5	3階応接室	西塚孝男、飯田桂司、鈴木勉 事務局職員（2名）	5名	・町長、副町長、総務課長と面談 （一問一答方式導入の件）
21	研修会	H31. 2. 7	河津町役場	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・賀茂地区議会議員研修会 町村議会を取り巻く現状について 全国町村議会議長会 三宅達也
22	委員会	H31. 2. 12	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・議員定数・報酬について ・一般質問の見直しについて ・意見交換会の意見への対応
23	委員会	H31. 2. 26	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・第1回議会定例会最終報告書の検討
24	委員会	H31. 3. 7	4階第一委員会室	全議員（12名） 事務局職員（2名）	14名	・第1回議会定例会最終報告書の検討
会議等の開催回数計					24回	

参考資料 2

(1) 議員定数の現状

ア. 議員定数について

927町村議会の議員定数の平均は12人

※当町の人口は、303位／927町村議会

イ. 賀茂郡では、松崎町定数8人。他3町は定数11人

(2) 議員報酬の現状

■賀茂郡内の現状は下記のとおりである。

項目	東伊豆町	河津町	南伊豆町	西伊豆町	松崎町
人口	12,245人	7,260人	8,319人	7,934人	6,681人
議員定数	12人	11人	11人	11人	8人
議員報酬 (月額)					
議長	240,000円		245,000円	273,000円	273,000円
副議長	184,000円		187,000円	208,000円	208,000円
委員長	178,000円		175,000円	195,000円	187,000円
議員	168,000円		168,000円	187,000円	187,000円
期末手当率					
6月支給	165/100	150/100	135/100	150/100	135/100
12月支給	185/100	170/100	170/100	170/100	170/100
出席時 手当・報酬	なし				
政務活動費	なし				
議員年金	なし ※平成23年6月1日に廃止				

人口は平成31年2月1日現在

議員報酬について

①803位／927町村議会

②人口1万人から1.5万人までの同規模町村では低い方から4位

③議長会調査では、議員報酬の全国平均は、議長が290,944円、副議長が235,636円、常任委員長が219,763円、議員が213,726円である。